

坂戸市提案型協働事業報告

【事業名】

空き家と相続の問題を解決へ導く相談会の実施と迷惑空き家の発生予防活動

【団体名】

特定非営利活動法人空き家対策協会坂戸支部

①事業の目的

- ・ 空き家についての情報を市民に提供し、多くの市民に問題意識を持っていただく。
- ・ 空き家予備軍と言われる方々に相続についての情報を提供し、迷惑空き家にならないように対策を促す。
- ・ すでに空き家でお困りの方に対し、個別相談を実施し、具体的な提案をする。

実施日 参加型講習会(ワークショップ) 令和5年11月8日(水) 10:00~12:00
個別相談会 令和5年11月8日(水) 13:00~16:00
会場 城山公民館(重点地区内にある公民館を会場として設定)

実施スケジュール

| | |
|-------|--|
| 7月 | 協働関係課との打合せ。日程、会場の決定、共催依頼 セミナー内容の決定・ファシリテーター依頼・チラシ案の作成 |
| 8月 | 市広報への入稿、セミナーチラシの印刷、自治会への協力依頼 |
| 9月 | 市広報による告知 自治会への回覧板チラシ送付(重点地区) |
| 10月 | セミナー資料、配布物の印刷 |
| 11月8日 | 参加型講習会(ワークショップ)、個別相談会実施 |
| 12月 | 事業総括、完了報告 |



②事業内容

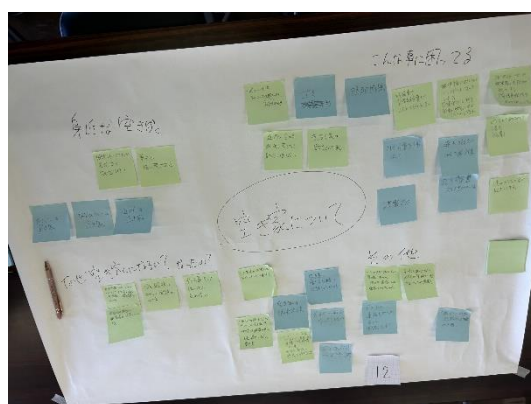
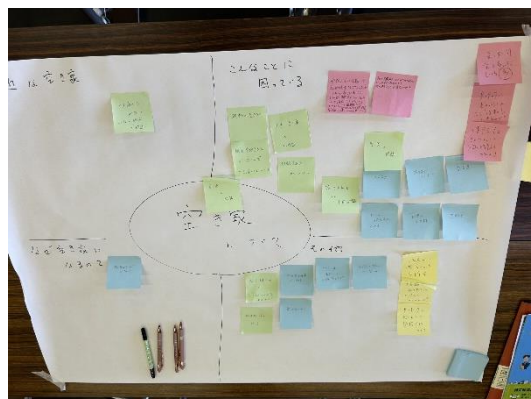
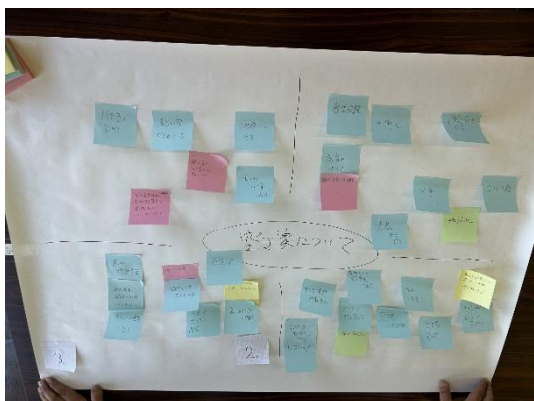
過去に行ってきたセミナー及び個別相談会という形式ではなく、住民参加型講習会いわゆるワークショップ形式で実施し、KJ法という手法を取り入れた。

1 テーブルに5名以内で実施。

地域の問題として、より身近にとらえていただくために、参加者が空き家問題について感じていることをどんなことでも構いませんので付箋に書込み、思っている心のモヤモヤを文字化した。

付箋に書いた内容を発表し、4つの小テーマを決め、ご自身の考えでどこにあてはまるかグループ分けを行ない、付箋が多くあてはまるところが可視化され、空き家問題が抽出される。それをもとに空き家予防の対策が明確化された。

ワークショップ風景



ワークショップ終了後、空き家予防を総括し3つに絞ることができた。

1. 地域で空き家についてたくさん話していただくこと。共有化すること。
2. 家族内で将来の空き家について話し合うこと。家族内で共有することも大切。
3. 遺言書を残しておくこと。

③協働関係課との連携内容

提案団体が担う役割

ワークショップの具体的な運営

ポスター、チラシ作成・配布資料作成・印刷、その他準備作業

個別相談開催時のコーディネート業務

協働関係課が担う役割

会場の借上げ

ワークショップ実施の告知

自治会への回覧依頼・市広報での告知・ポスターの掲示・公民館の設置

坂戸市における空き家の現状説明など簡単な講演

④成果及び効果

空き家問題の重点地区に特化し、共通の認識をもって事業を行なうことができた。
重点地区の自治会関係者と協働を図ることができ、地域の空き家問題が抽出された。

⑤課題及び改善点

抽出された予防活動の対策と解決について話し合い、次の重点地区への予防活動についての役割を再確認した。

役割分担の検討として

他の自治体で実施されている1次相談窓口の設置の検討

支援団体としての役割分担を検討した。(空き家等管理活用支援法人についての検討)

⑥決算書

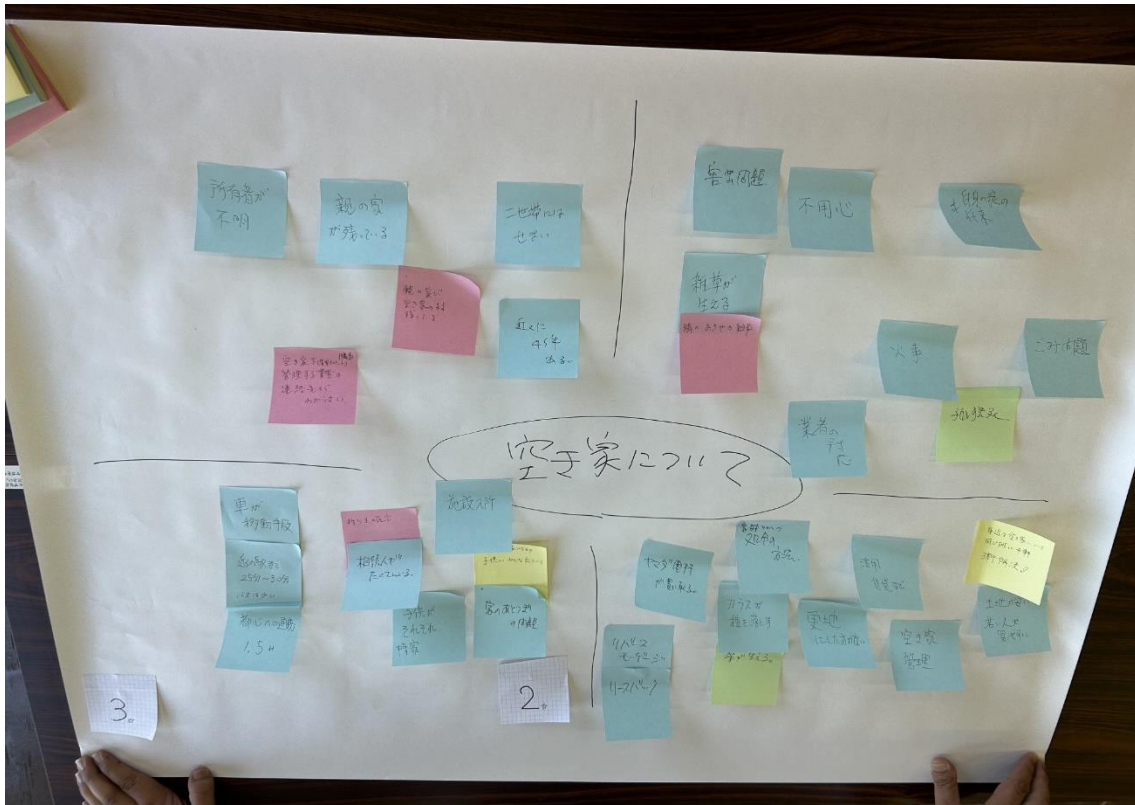
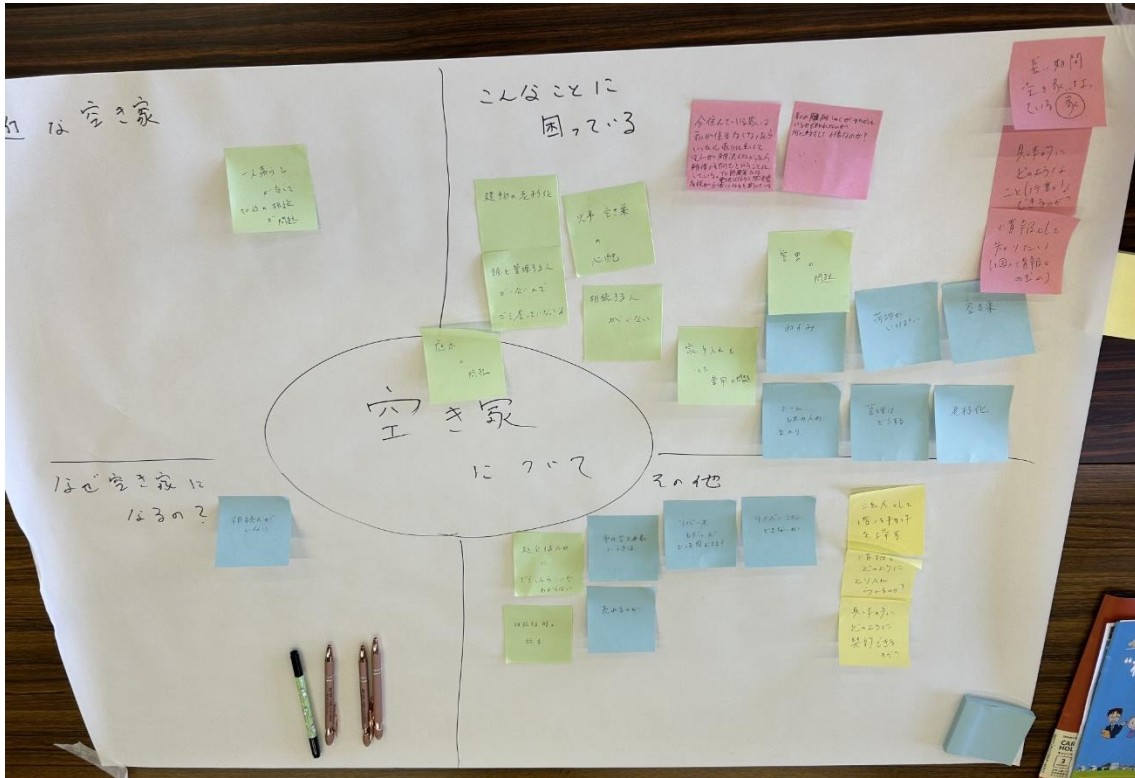
(収入)

| 区分 | 予算額 | 決算額 | 説明 |
|------|--------|--------|---------------|
| 補助金 | 60,000 | 60,000 | 坂戸市提案型協働事業補助金 |
| 自己資金 | 724 | 724 | 当会一般会計より(会費) |
| 合計 | 60,724 | 60,724 | |

(支出)

| 区分 | 予算額 | 決算額 | 説明 |
|-----|--------|--------|-------------------|
| 報償費 | 27,500 | 27,500 | 講師への報酬(5,500円×5人) |
| 需用費 | 31,774 | 31,744 | チラシ・ポスター等印刷代、文具代等 |
| 役務費 | 1,480 | 1,480 | 郵送料 |
| | 60,724 | 60,724 | |

ワークショップ結果(第1グループ、第2グループ)



ワークショップ結果 (第3グループ、第4グループ)

